

なんま しけんたんすい
南摩ダムは、試験湛水を開始します

思川開発事業で建設中の南摩ダムでは、ダム本体が概成し、湛水の準備が整ったことから、令和6年11月8日（金）に仮排水路に閉塞ゲートを降下させ、試験湛水※を開始します。

なお、導水施設については、引き続き工事を進めてまいります。

※試験湛水は、ダムの本格運用開始に向け、貯水位を上昇及び降下させダム堤体や貯水池周辺地山等の安全性を確認するものです。

試験湛水開始は、天候により延期となる場合があります。

試験湛水開始以降は、湛水の状況を思川開発建設所のホームページからご覧いただけます。以下のアドレスにて表示されるページより必要箇所の映像をご覧ください。

<https://omoigawa-cam.arksystem.jp/>



取材を希望される報道機関の方は、裏面をご覧ください。



令和6年11月1日

独立行政法人水資源機構
思川開発建設所

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ

鹿沼市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 総務課長 はせがわ 長谷川

住 所：栃木県鹿沼市口栗野839-2

電 話：0289(85)1110(代表)

【取材を希望される報道機関の皆様へ】

試験湛水開始当日に仮排水路呑口付近において、仮排水路呑口をゲートにて閉鎖する作業を取材いただけますので、希望される方は下記をご確認ください。

記

取材可能日時： 令和6年11月8日（金）午前10：00～10：20

※試験湛水開始は、天候により延期となる場合があります。

取材場所： 仮排水路呑口付近

取材内容： ゲートによる仮排水路呑口の閉鎖

集合場所： 思川開発建設所南摩ダム管理棟（鹿沼市上南摩町字神谷2958-4）

※県道177号線（上久我・栃木線）を鹿沼市街方面から杓子沢トンネルの先、
左側の建物

※当建設所が用意する車で取材場所までご案内致します。

集合時間： 令和6年11月8日（金）午前9時30分

取材申込方法： 別添1に必要事項を記入のうえ令和6年11月6日（水）15時
00分までにFAXにてお申込み願います。

その他： 工事現場内での取材になりますので長靴を持参ください。
機構より貸与するヘルメット及び安全ベストを着用いただきます。

別添 1

独立行政法人水資源機構

思川開発建設所 総務課 あて

(F A X : 0 2 8 9 - 8 5 - 1 2 1 1)

1 1 月 8 日 (金) 取材申込書

取材を希望される方は、以下の項目についてご記入いただき、

1 1 月 6 日 (水) 1 5 時までに F A X にて提出願います。

1. 報道機関名 :

2. 参加予定者 (代表者名) :

3. 参加人数 :

4. ご連絡先 :

— 以 上 —

思川開発事業 南摩ダム

事業の目的

洪水調節

南摩ダム地点の計画高水流量
130m³/sのうち125m³/sの洪水
調節を行うことにより、
他の事業と相まって思川沿川、利
根川中・下流の洪水被害の軽減を
図ります。

新規利水

栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、
五霞町、埼玉県及び北千葉広域
水道企業団へ、最大2.984m³/s
の水道用水を新たに供給します。

流水の正常な機能の維持

(異常渇水時の緊急水の補給を含む)

黒川、大芦川、南摩川及び思川
の既得用水の補給等、流水の正
常な機能の維持と増進を図りま
す。
また、利根川水系の異常渇水時
の緊急水の補給を行います。

事業の概要

事業工期：昭和44年度から令和8年度（2026年度）概成予定

ダムサイト位置	栃木県鹿沼市上南摩町地先
形式	コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダム
堤高	86.5m(堤長EL. 236.5m)
堤頂長	約359m
堤体積	約240万m ³
集水面積	約12.4km ²
湛水面積	約2.1km ²
総貯水容量	5,100万m ³
有効貯水容量	5,000万m ³



ダム完成イメージ図

事業の経過（進捗状況）

昭和44年 4月	実施計画調査に着手	令和2年 1 2月	南摩ダム本体建設工事に着手
59年 4月	建設事業に着手	9月	付替県道が全線開通
平成12年11月	建設省が「南摩ダム継続、大谷川 分水中止」を決定	4年 3月	南摩ダム定礎式を開催
13年12月	南摩ダム損失補償基準の妥結、補償 契約に着手	令和5年 8月	堤体盛立概成
20年 6月	全世帯移転完了	令和6年 5月	コンクリート表面遮水壁打設完了
23年 3月	仮排水路トンネル完成		
28年 8月	ダム検証による国土交通省の対応 方針「継続」を決定		
31年3月	付替県道(上久我栃木線)一部(杵子沢～ 中村区間)供用開始		

南摩ダム施工状況 上流から下流を撮影(令和6年9月)